



■プロフィール

セーラ・カゼンズさんは今年の七月、イギリスのシェフィールド大学を卒業後、文部省の外人英語教師のテストに五倍の難関を突破してやってきました。今、下越教育事務所の指導助手として、下越地区の中学校・高等学校の英語の授業で活躍しています。

来日のきっかけは、大学で日本語を学んだこと。それに三年前、東京の日本人の家庭でホームステイをしながら二か月間、政法大学で学んだことです。

セーラさんは、父と母、それに姉さんの四人家族で、二十二歳。イギリスのアックスミンスターという人口四千人の町の出身です。趣味は洋服を自分で作る事が好きで、そのほかにスポーツではテニスと柔道をやっています。とっても笑顔がすてきなイギリス美人の先生です。

イギリスからやってきた英語指導助手

「発音に本場の味を……」と

笑顔のすてきなセーラ先生

日本に来て、三か月が過ぎ、日本語もかなり話せるようになったセーラ・カゼンズさん。毎週水曜日勤務の岩室中学校で、岩室の印象や中学生のみなさんについて感じたことなどを聞いてみました。

ことしの九月十六日から岩室中学校で英語の指導助手をしているセーラ・カゼンズさん。

セーラさんは、イギリス生まれの二十二歳の女性で、身長一七〇センチ以上のスラッとした容姿の典型的なイギリス美人です。セーラさんは、ことしの七月にイギリスのシェフィールド大学を卒業したばかりで、大学で学んだ日本語と地理学をもとに、ことし八月に行われた文部省の外国人英語教師テストに五倍の難関を突破してやってきました。

セーラさんは学生時代に二か月間、東京の日本人の家庭に住み込みながら、政法大学で学んだ経験もあり、あいさつなど簡単な日本語の会話は十分できます。

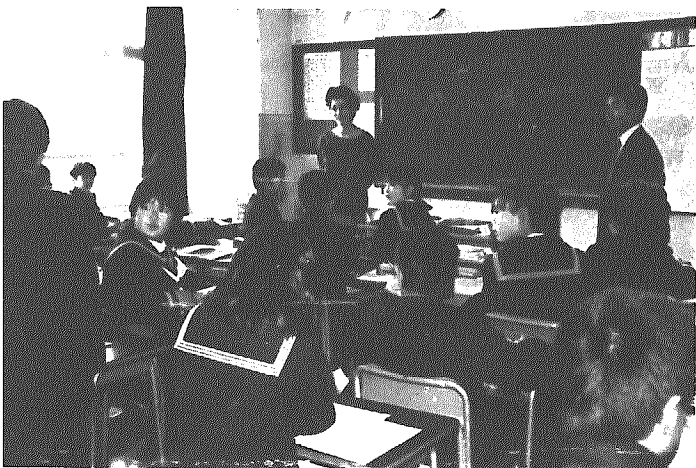
岩室中学校には毎週水曜日(月三回)にやってくる、本場の発音などを生徒に指導しています。

高津校長は「全校生徒が本場の発音を直接聞いたり、会話を交わせることは本場にありがたいことです。英語の力がつくことは当然ですが、それ以上に日数は少なくても、一年間一緒に過ごすあいをするわけですから、交流を重ねながら、外人コンプレックスなどない国際的な人間形成に役立てば最高ですね」と話します。

「岩室中学校の生徒はみなさん素直ですね。授業中は、はずかしがり屋?さんが多い、という印象があります。まだ日が浅いせいなのでしょうが、今後に期待したいですね。そして積極的にわたしたと会話できる勇気?を身につけていただければ、いいですね。でも廊下などでのあいさつは大変よく、それがそのまま授業の中で発揮できれば、すばらしいことだと思います」とセーラさんの生徒分析。学校側が期待している点を鋭く突いているようですね。ところでセーラさんは岩室中学校の



行動型の授業はセーラさんの得意技?すぐに答えがなくとも、ヒントを出しながら、完全な解答を待つ。



授業は会話が中心。一人ひとりに英語で質問がとぶ(10月17日、1年生の教室で)

日本語でも十分意思が通じるようになりました。土曜日の夜なんか、友達と一緒に市内のバブで語り合い、けっこう新潟をエンジョイしています」と明るく話す。

ここでちょっとセーラさんにイギリスと日本の違いなどをインタビュしましたので、ご紹介しましょう。

岩室はすてきな村

■岩室村の感想(印象)は? 山が近くに見える、まとまった感じがすてきな田舎って感じですね。

■岩室村の中学生を、どう思いますか。外人が来た、というので驚いているようです。廊下で会ったときなどは元気なんです、授業中はちょっとはずかしがり屋さんが多いようです。

イギリスと日本の学校のちがいの

■日本とイギリスでは、ずいぶん学校生活も違うと思いますが、セーラさんが知っている範囲で岩室村と比較してみてください。

授業 義務教育は十六歳までです。クラスは二十五人から三十人くらいで、日本とほぼ同じスタイルで授業はやっています。ただ中学校というものは厳密にはなく、七年生とか八年生なんて呼んでいます。

校則 パーマやピアス、イアリングなど割合にオー

ブンですね。ある程度、生徒の自主性を尊重している感じがします。それに授業後のそうじなどはもちろんありません。

長期休暇

春休みは三週間くらいです。夏は六週間、冬は三週間あります。その間に各学期末(三学期制)には一週間程度の休みがあります。

夏休みの過ごし方

水泳を楽しんだり、両親と旅行したり、日本とほとんど同じですね。高学年になると友達と海外(フランスなど)へ旅行することが多いようです。それにアルバイトも大変よくやります。社会勉強の一つだというところをわかっていてほしいでしょうか。

部活動 クラブ活動はあります。ただ、スポーツ交流ということで他校との試合

(選抜で)はよくあります。学校行事 運動会などは岩室中学校と同じように、それぞれのグループに分かれて対抗試合をしています。でも応援団なんていうのはありません。

校内暴力

イギリスでもありますが、もちろんいじめも同様です。しかし、日本ほど深刻な問題にはなっていないような気がします。

セーラさんは来年の七月まで岩室中学校で指導をする予定になっています。笑顔のすてきなセーラさんの指導で英語の実力がアップすることはもちろん、国際的で積極性のある人間形成にセーラさんが役立てば、いいですね。

セーラさんを語る

—岩室中学校のみなさん—

とても愉快な先生です

じんぼ たかひろ 神保 高宏くん (1年)



とても愉快な先生です。ぼくたちに、なんでも質問してきて緊張した感じはありません。だから授業は受けやすいですね。

でも最初のころは、授業中に急に質問され、どう答えたらよいか、ちょっぴりドキドキしたこともありましたが、しかし、積極的な授業は好感が持てますし、第一、明るく楽しい先生、ということがいいですね。

積極的で笑顔がすてき

くがみひとみさん (1年)



初めは、イギリスから先生が来た、というので本当に緊張しました。でも、美人で親しみやすい先生でよかったなと思っています。先生はとっても笑顔がすてきで好きです。積極的に質問してくれるものから、正直なところ当てられなければいいなあなんて思っています。でも、これを機会に外国のかたとも気軽に会話ができるような英語の実力を身につけたいと思っています。